

2019年3月期 第2四半期決算説明会

挑戦と創造

2018年11月16日

アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにも全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

1. 2019年3月期 第2四半期実績
2. 2019年3月期 通期計画
3. セグメントの実績および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
4. 海外事業の実績および計画
5. 中期経営計画C & C2000の進捗
6. 配当について

1. 2019年3月期第2四半期 連結決算の概要

[単位:百万円]

	2018/3期 第2四半期		2019/3期 第2四半期				
	実績	率	計画	実績	率	伸率	達成率
売上高	78,012		88,000	90,832		16.4%	103.2%
営業利益	9,300	11.9%	9,800	9,670	10.6%	4.0%	98.7%
経常利益	9,595	12.3%	9,900	10,109	11.1%	5.4%	102.1%
四半期純利益※	5,726	7.3%	6,300	6,044	6.7%	5.5%	95.9%

※:親会社株主に帰属する四半期純利益

[一株当たり単位:円]

一株当たり四半期純利益	87.7	-	96.5	92.6	-	-	95.9%
-------------	------	---	------	------	---	---	-------

1. 第2四半期 連結決算の概要

伸び率

売上高	+16.4%	9期連続増収
営業利益	+4.0%	9期連続増益
経常利益	+5.4%	9期連続増益
四半期純利益※	+5.5%	3期連続増益

売上	: 6期連続 過去最高を更新
営業利益・経常利益	: 7期連続 過去最高を更新
四半期純利益※	: 2期連続 過去最高を更新

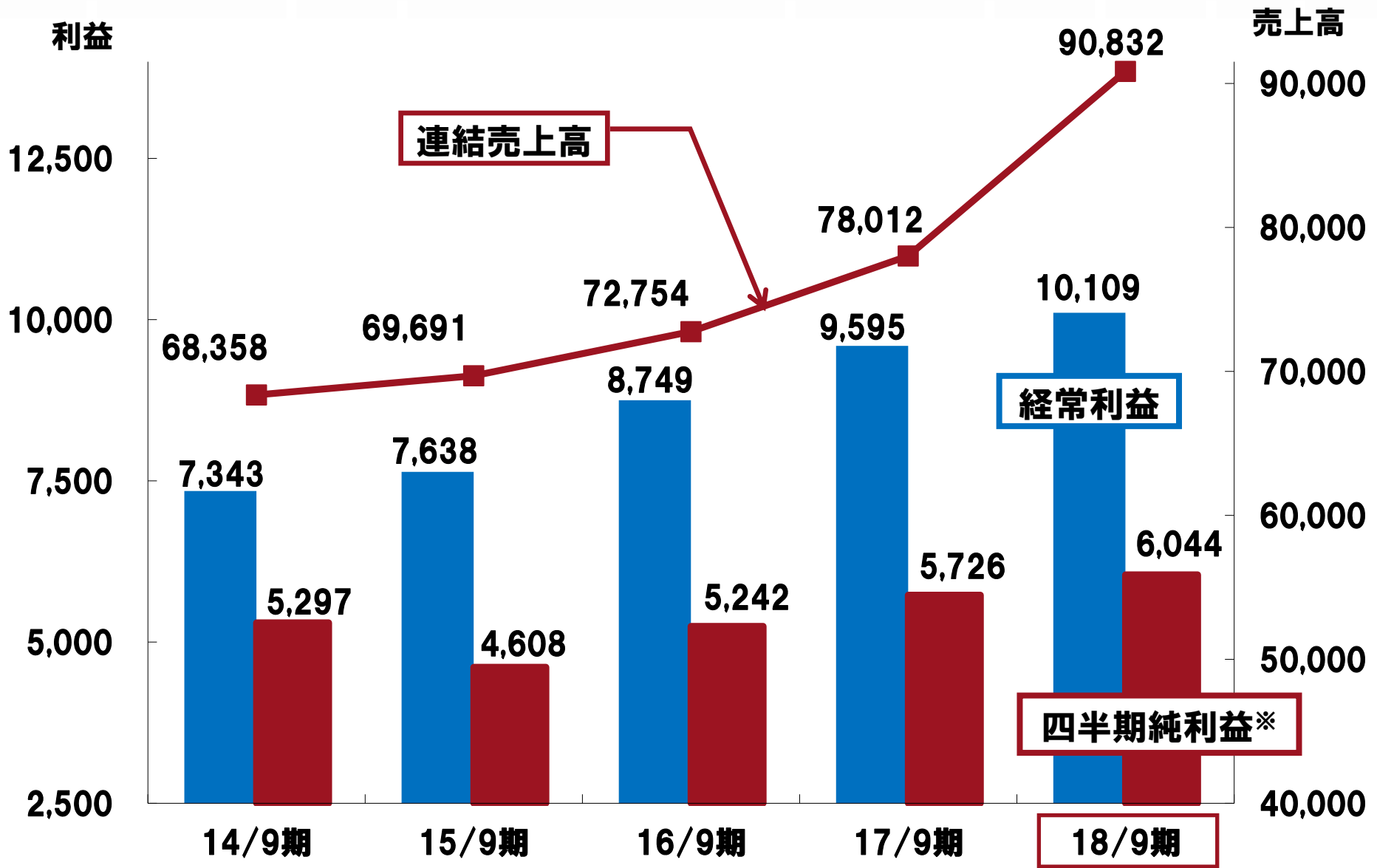
※親会社株主に帰属する四半期純利益

■国内事業:非住宅向け 好調、住宅向け 低調

■海外事業:アイカ・アジア・パシフィック (AAP) 売上好調
 エバモア社、タイ・ケミカル社の新規連結 開始
 東南アジアにおける化粧板販売 好調

1. 第2四半期 連結決算の推移

[単位:百万円]



1. 第2四半期 主要項目の状況

	2016/9期	2017/9期	2018/9期
	連結	連結	連結
設備投資額	15.9億円	19.7億円	32.7億円
減価償却費	17.0億円	17.0億円	19.6億円
研究開発費	12.8億円	13.0億円	15.3億円
借入金残高	15.9億円	20.7億円	47.8億円
期末人員			
国内	1,554人	1,563人	1,599人
海外	1,811人	1,852人	2,284人
合計	3,365人	3,415人	3,883人

[単位:百万円]

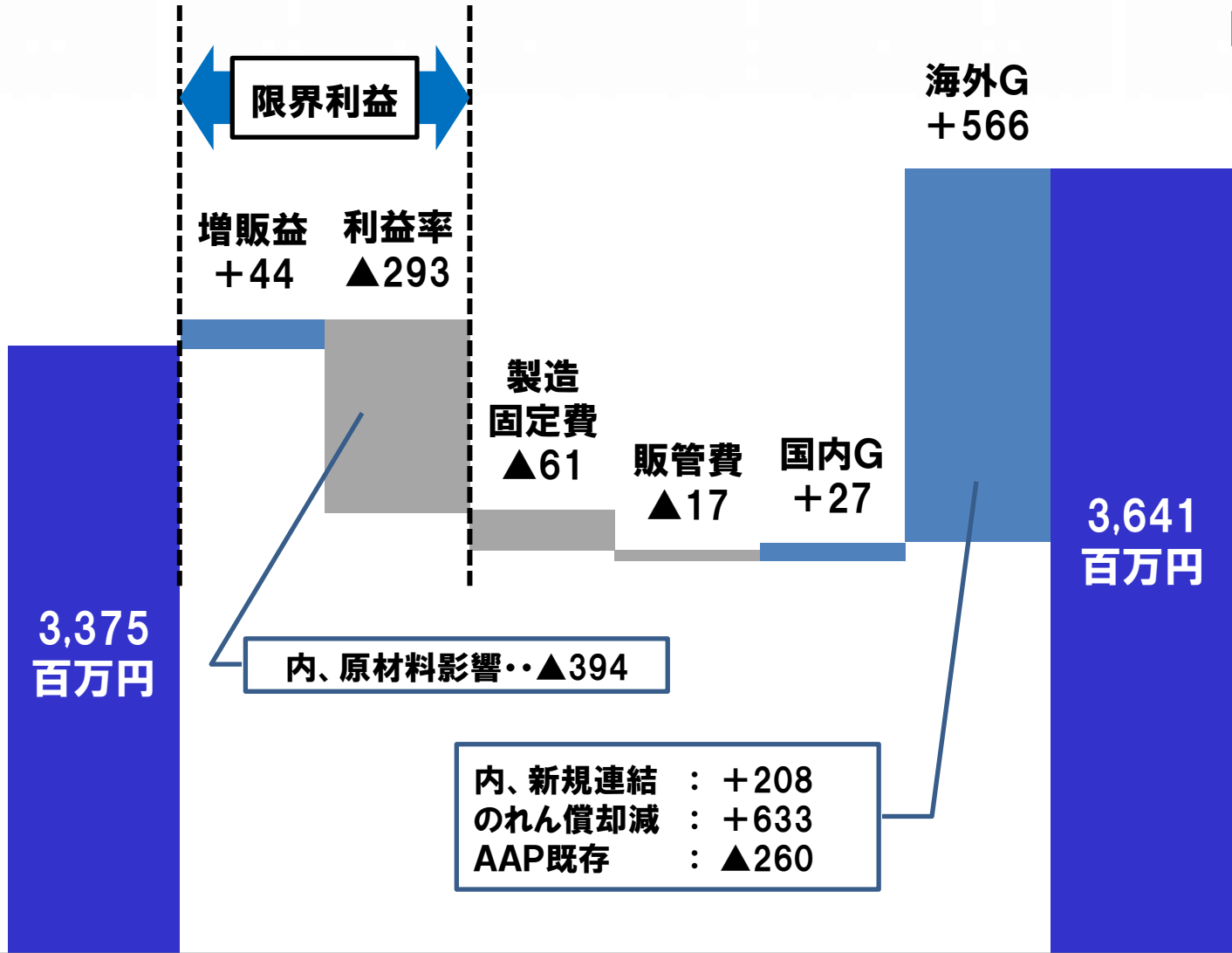
1. 第2四半期 セグメント別実績

	売上高			営業利益			
	2017/9期 実績	2018/9期 計画	2018/9期 実績	2017/9期 実績	2018/9期 計画	2018/9期 実績	
化成品	39,889	48,150	52,176	3,375	3,790	3,641	金額
				8.5%	7.9%	7.0%	利益率
建装建材	38,123	39,850	38,656	7,169	7,335	7,289	金額
				18.8%	18.4%	18.9%	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 1,244	▲ 1,325	▲ 1,261	金額
合計	78,012	88,000	90,832	9,300	9,800	9,670	金額
				11.9%	11.1%	10.6%	利益率

1. 利益増減(化成品) <17/9期vs.18/9期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位:百万円]



17/9期

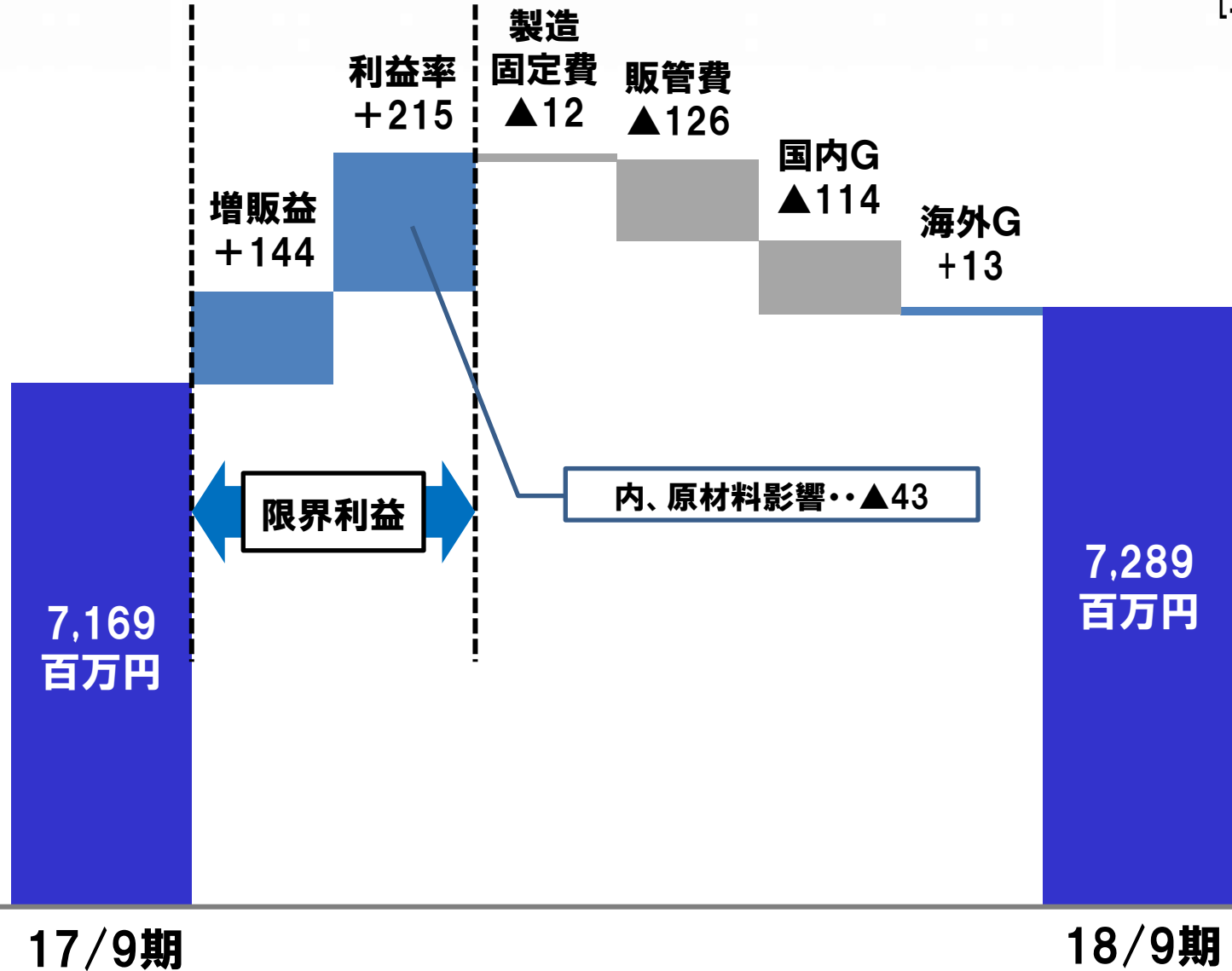
18/9期

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

1. 利益増減(建装建材) <17/9期vs.18/9期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位:百万円]



1. 2019年3月期 第2四半期実績
- 2. 2019年3月期 通期計画**
3. セグメントの実績および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
4. 海外事業の実績および計画
5. 中期経営計画C & C2000の進捗
6. 配当について

2. 2019年3月期 経営環境予測

国内建設市場

※アイカ需要期へタイムラグ調整済み

2018年3月期(実績)	住宅:▲0.3%	非住宅:+3.1%
2019年3月期(期初予想)	住宅:▲2.2%	非住宅:+1.2%
2019年3月期(最新予想)	住宅:▲1.7%	非住宅:+2.2%

海外市場

アジア圏を中心に底堅い成長を持続

為替換算レート

※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は僅か

2018年3月期(実績)	1USD=112.38円
2019年3月期(期初想定)	1USD=105.00円
2019年3月期(最新想定)	1USD=110.00円

国産ナフサ価格

※すべての原材料がナフサに連動するわけではない

2018年3月期(実績)	40,500円/kl
2019年3月期(期初想定)	46,500円/kl
2019年3月期(最新想定)	51,750円/kl

2. 2019年3月期計画

[単位:百万円]

	2018/3期 実績		2019/3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増加額
売上高	163,726	-	185,000	-	13.0%	21,273
営業利益	19,092	11.7%	20,800	11.2%	8.9%	1,707
経常利益	19,600	12.0%	21,000	11.4%	7.1%	1,399
当期純利益※	11,996	7.3%	13,400	7.2%	11.7%	1,403
R O E	10.1%	-	10.6%	-	-	-
R O A	6.8%	-	6.8%	-	-	-
一株当たり純利益	183.7円	-	205.2円	-	-	-
一株当たり株主資本	1,880.1円	-	1,987.4円	-	-	-
設備投資額	45.2億円	-	80.0億円	-	-	-
減価償却費	35.5億円	-	40.0億円	-	-	-
研究開発費	28.5億円	-	32.2億円	-	-	-

※:親会社株主に帰属する当期純利益

2. 2019年3月期 通期セグメント別業績計画

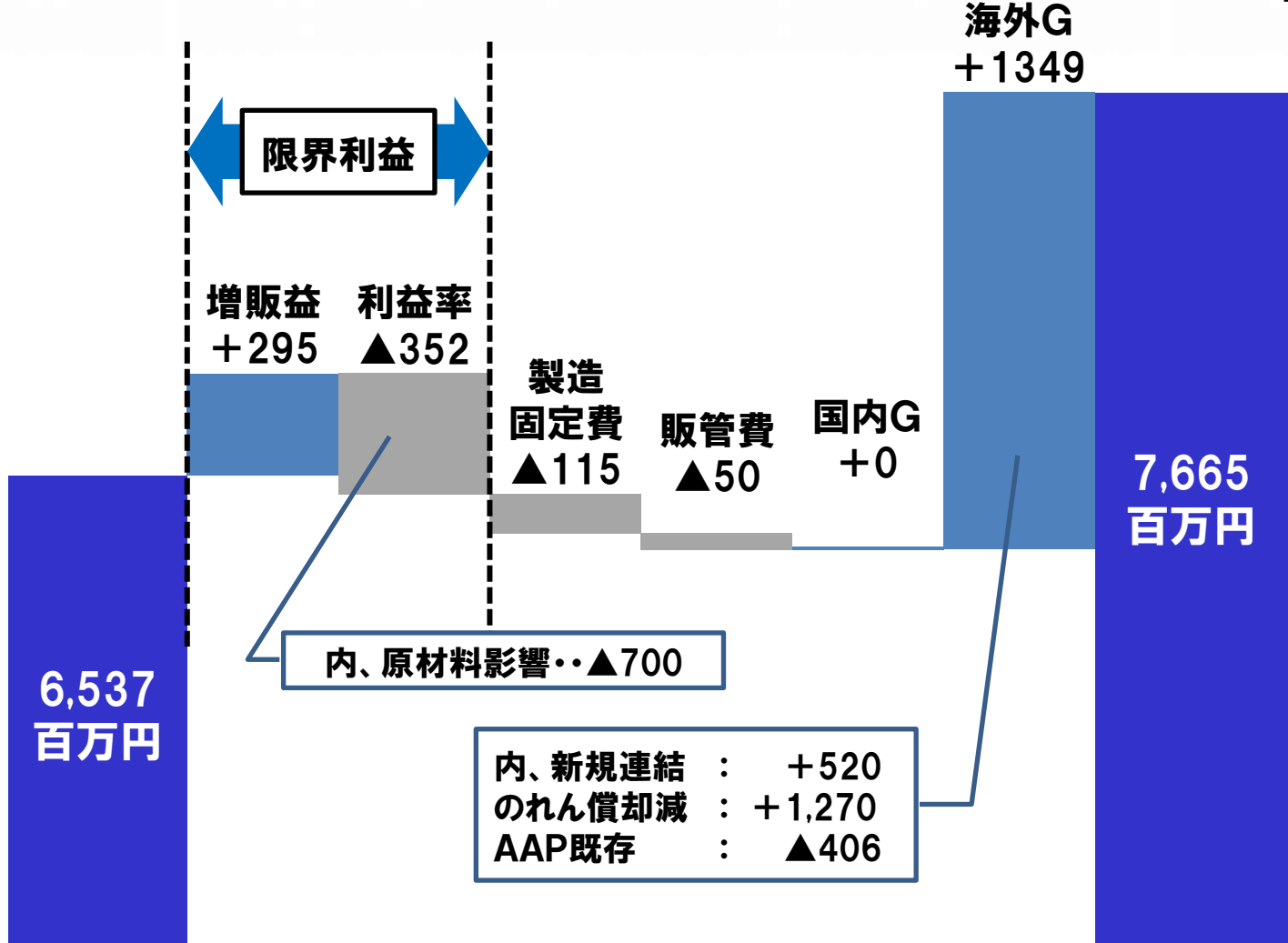
[単位:百万円]

	売上高			営業利益			
	2018/3期 実績	2019/3期 計画	差異	2018/3期 実績	2019/3期 計画	差異	
化粧品	82,911	103,200	20,288	6,537	7,665	1,127	金額
				7.9%	7.4%	▲0.5%	利益率
建装建材	80,815	81,800	984	15,623	15,829	205	金額
				19.3%	19.4%	0.0%	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 3,068	▲ 2,694	374	金額
合計	163,726	185,000	21,273	19,092	20,800	1,707	金額
				11.7%	11.2%	▲0.5%	利益率

2. 利益増減計画(化成品) <18/3期vs.19/3期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位:百万円]



18/3期

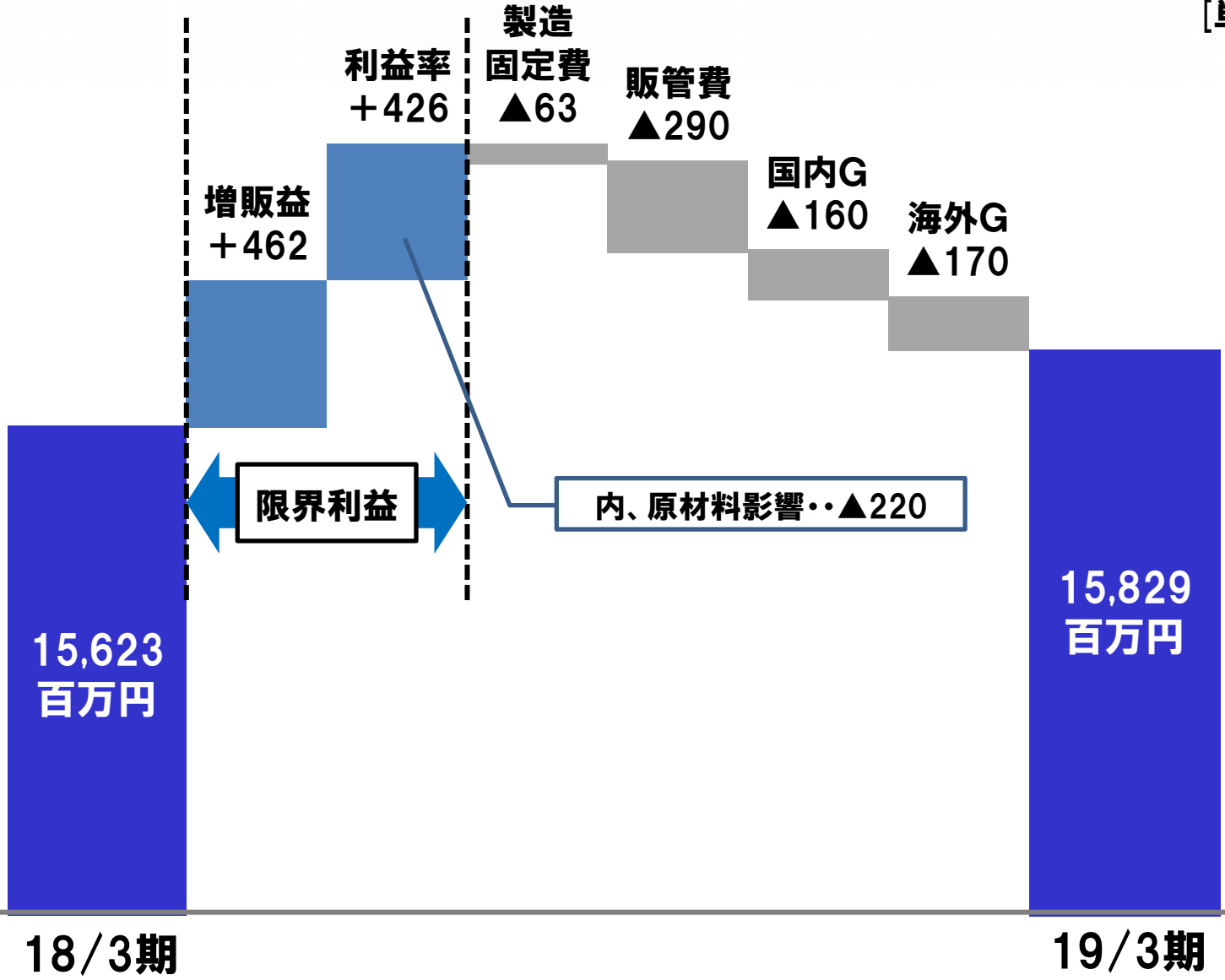
19/3期

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

2. 利益増減計画(建装建材) < 18/3期vs.19/3期 >

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位:百万円]



目次

1. 2019年3月期 第2四半期実績
2. 2019年3月期 通期計画
- 3. セグメントの実績および方策**
 - 3-1 化成品セグメント**
 - 3-2 建装建材セグメント**
4. 海外事業の実績および計画
5. 中期経営計画C & C2000の進捗
6. 配当について

化成品 商品群別売上計画(連結)

	2018/3期(実績)		2019/3期(実績・計画)			
	上半期	通期	上半期実績	伸率	通期計画	伸率
接着剤	258.2億円	539.7億円	307.0億円	18.9%	621.0億円	15.1%
AAP	191.2億円	405.6億円	240.9億円	25.9%	488.0億円	20.3%
建設樹脂	46.8億円	95.2億円	46.4億円	▲1.0%	94.3億円	▲1.0%
機能材料	48.8億円	98.0億円	115.8億円	137.2%	219.0億円	123.4%
その他	44.8億円	96.1億円	52.4億円	16.8%	97.7億円	1.7%
合計	398.8億円	829.1億円	521.7億円	30.8%	1,032.0億円	24.5%

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

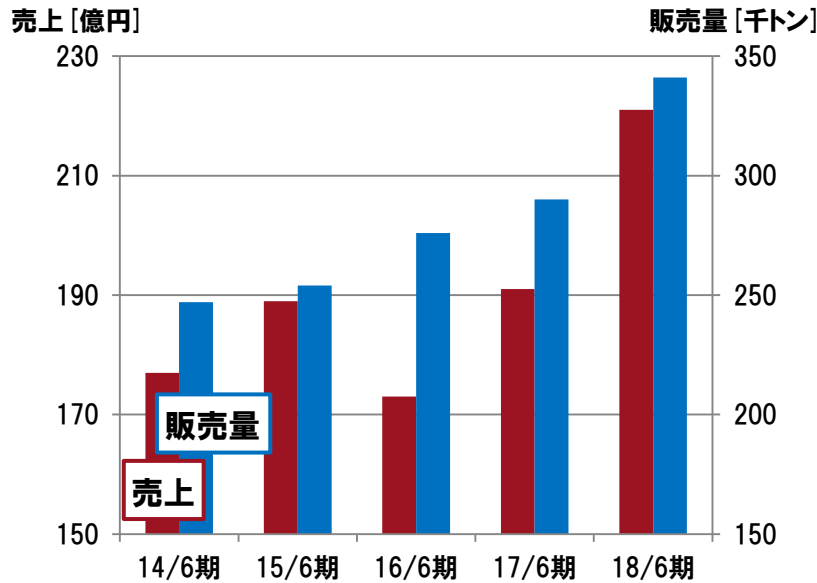
3-1 化成品セグメント 実績(接着剤)

海外:好調

■数量増および原材料価格転嫁で増収

- ・AAP中国の産業用樹脂を中心に数量増
- ・新規連結タイ・ケミカル社 (TCC) 売上18.2億円寄与
- ・AAP×AICAシナジー、9.6億円実績化
(機能材料事業含む)

アイカ・アジア・パシフィック (AAP) の売上・販売量の推移



国内:横ばい

■施工用接着剤・産業用フェノール樹脂好調

- ・合板用・研磨布紙用フェノール樹脂 好調
- ・AS商品(壁面タイルはく落対策接着剤) 好調
- ・集成材用接着剤 低迷

■広島工場の復旧へ注力

- ・1.5mの浸水被害。BCPに沿って8週間で復旧
- ・愛知・福島・群馬・兵庫での代替生産が機能



売上:307億円(対前年118.9%)

海外(東アジア・東南アジア)需要取り込み好調

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

3-1 化成品セグメント 実績(建設樹脂)

**ジョリパット
(塗り壁材)**



- **低迷**
- ・新築ハウスメーカー向け 低迷
- ・リフォーム向け 低迷

**ジョリエース
(塗床材)**



- **好調**
- ・食品工場向け 好調
- ・住宅ベランダ用途 低迷

**ジョリシール
ダイナミックレジン
(補修・補強分野)**



- **低迷**
- ・シール材 低迷
- ・コンクリート片はく落防止材 好調

売上:46億円 (対前年99.0%)

ジョリエース・・・工場需要増

補修・補強材・・・昨年大型案件の反動減

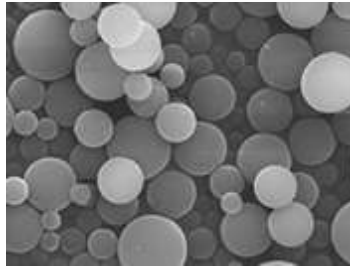
3-1 化成品セグメント 実績(機能材料)

ホットメルト・機能性アクリル



- 低迷**
- ・ヘッドランプ用シール材 → 好調
- ・太陽光パネル用途 → 低迷

有機微粒子



- 横ばい**
- ・国内化粧品用途 → 好調
- ・塗料向け改質材 → 好調

UV樹脂・シリコーン



- 低迷**
- ・シリコーン原料不足 → 低迷
- ・電子材料用途 → 低迷

アクリル・コンパウンド



- 好調**
- ・紙/粘着、塗料用途 → 好調
- ・手袋内面処理剤 → 好調

エバモア社



- 新規連結開始**
- ・ウレタン製品 → 数量増。ベトナム向けの輸出が好調
- ・UV樹脂製品 → 数量増。原材料高騰の影響を受け、減益
- ・売上高: 67.2億円 営業利益: 1.0億円

売上: 115億円 (対前年237.2%)

アクリル・コンパウンド・・・好調

エバモア社・・・新規連結寄与

3-1 化成品セグメント 方策(接着剤)

海外

■既存ビジネスの拡大

- ・AAP※(中国・タイ・インドネシア)で設備投資
- ・中国の環境規制への対応
→木材の代わりに竹を用いたウッドデッキや
木工製品向けのバインダーとなる樹脂



竹

➡ 粉碎

↓ 樹脂と混合

➡ 圧縮



フロア・木工製品

- ・タイ・ケミカル社(TCC)の新規連結

国内

■フェノール樹脂事業の拡大

- ・合板向け接着剤の需要、継続刈取り
- ・フェノール樹脂事業部
⇒断熱材・成形・研磨布紙市場の市場拡大

合板用途



研磨用途



断熱材



通期売上計画:621億円(対前年115.1%)

海外ビジネスの拡大 フェノール樹脂ビジネスの合併効果

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

3-1 化成品セグメント 方策(建設樹脂)

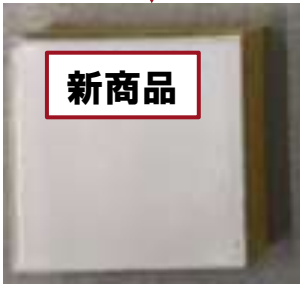
■改修分野の強化・AS商品(アイカソリューション商品)の拡販

ジョリパット (塗り壁材)	ジョリパット施工店会 活用 改修向け新商品 上市
--------------------------	-----------------------------

ジョリエース (塗床材)	アイカピュール ピュールハードAH工法 拡販
	紫外線による変色 低減
	工期短縮(目地処理不要)



紫外線照射



ダイナミックレジン (補修・補強材)	外壁タイルはく落防止タフレジンクリアガード工法 拡販 オフィスビルクライアントへの営業活動 強化
-------------------------------	---

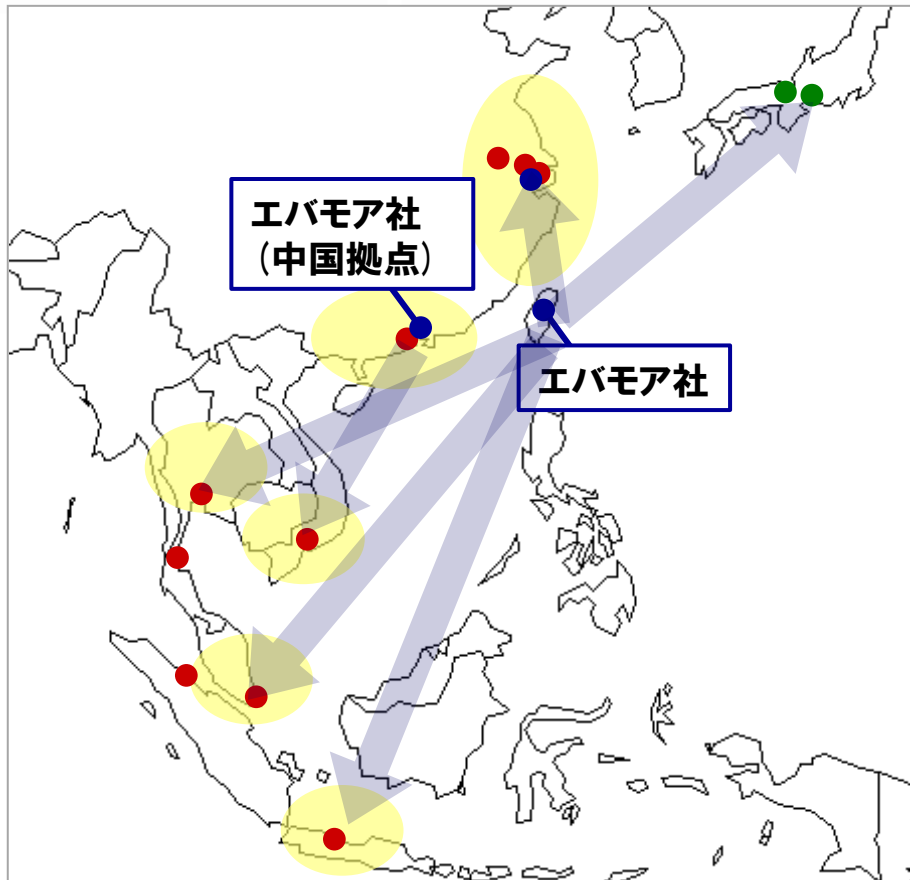
通期売上計画:94.3億円 (対前年99.0%)

改修市場 注力 塗床需要・補修補強市場 取り込み

3-1 化成品セグメント 方策(機能材料)

エバモア社(EMC※)

- ・AAP※の拠点を活かしEMC製品を拡販



ホットメルト・機能性アクリル

- ・ヘッドランプシール材向けホットメルト：
→製造能力増強
- ・衛生材向けホットメルト：
→日本メーカーの国内外工場へ展開

アクリル・コンパウンド

- ・AAP※連携により東南アジア展開

有機微粒子

- ・塗料改質材：欧米・東アジア輸出強化
- ・好調な国産化粧品向け、丹波工場増産

UV樹脂・シリコン

- ・有機EL用途・スマートフォン用途UV樹脂
海外顧客の獲得
- ・非電材分野(車載・ネイル用途) も注力

通期売上計画：219億円（対前年223.4%）

M&Aシナジー 海外展開 供給体制の構築

3-1 化成品セグメント 方策(機能材料)

車関連売上
2020年度
目標35億円



自動車関連

M & Aシナジー

海外展開

供給体制の構築

建装建材 商品群別売上計画(連結)

	2018/3期(実績)		2019/3期(実績・計画)			
	上半期	通期	上半期実績	伸率	通期計画	伸率
メラミン化粧板	77.0億円	166.3億円	80.6億円	4.6%	171.5億円	3.1%
ボード等 フィルム	65.4億円	143.4億円	64.9億円	▲0.7%	143.0億円	▲0.3%
セラール	92.4億円	191.8億円	91.6億円	▲0.8%	192.0億円	0.1%
不燃建材	43.6億円	92.5億円	46.7億円	7.1%	97.5億円	5.4%
カウンター ポストフォーム	74.7億円	156.3億円	76.2億円	2.0%	159.0億円	1.7%
建具 インテリア建材	27.8億円	57.6億円	26.2億円	▲5.8%	55.0億円	▲4.6%
合計	381.2億円	808.1億円	386.5億円	1.4%	818.0億円	1.2%

3-2 建装材セグメント 実績

国内建設市場の市場環境

※アイカ需要期へずらし済み

期初予想	住宅:▲2.5%	非住宅:+0.9%
上期実績	住宅:▲3.6%	非住宅:+5.1%
下期予想	住宅:+0.0%	非住宅:▲0.7%
通期予想	住宅:▲1.7%	非住宅:+2.2%



[住宅] 底堅い需要取込み
 [ホテル・保育園・工場]
 伸張市場獲得
 [オフィス] 回復基調



売上: 386億円 (対前年101.4%)
 アイカテック建材×アイカ工業シナジー寄与 非住宅市場需要取込

3-2 建装建材セグメント 実績

M&Aシナジーの推移

上半期売上高 [億円]

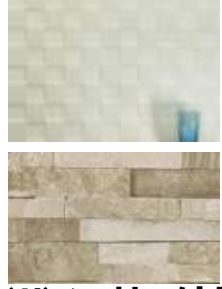


□汎用不燃板「ルナライト・カラー」



汎用的なラインナップ → メラミン同色のバリエーションに

□調湿建材「モイス」



素地1柄のみのラインナップ → デザイン性 付与小ロット梱包

売上: 386億円 (対前年101.4%)

アイカテック建材×アイカ工業シナジー寄与 非住宅市場需要取込

※ATK:アイカテック建材 2015年10月より連結化

3-2 建装建材セグメント 方策

■ 改修市場の強化 およびAS商品拡販

■ トイレ向け商品拡販

「キッズ洗面セット」
「ラバトリーフィット」



省施工

子育て支援

■ 浴室改修パネル

工期短縮

廃材削減

客室稼動
改修



■ マグネットメラミン化粧板



長寿命化

省施工

美観アップ

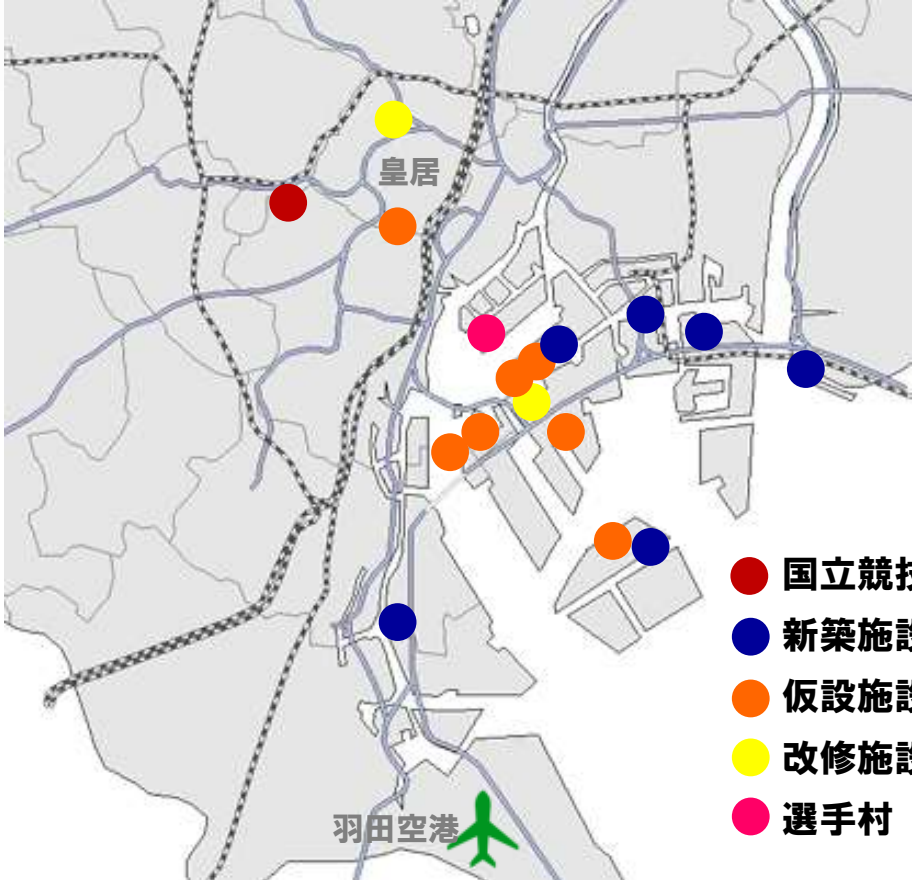
建装建材セグメント売上高：818億円（対前年101.2%）

伸張市場へAS商品の拡販 オリンピック需要の刈取り

※AS商品:アイカンソリューション商品の略。社会課題解決型の商品群

3-2 建装建材セグメント 方策

オリンピック需要の刈取り



オリンピック関連施設として都心で計画が発表されている施設マップ
※全ての物件に必ず当社製品が使用されるというわけではありません

- 競技施設等の新築・増改築・改修
- 今期～来期にかけて、納入がピーク

↓
営業活動強化

トイレ **シャワールーム** **更衣室** **内外装**

↑
トイレブース **セラール** **不燃建材** **洗面カウンター**
ポストフォーム **人工大理石**



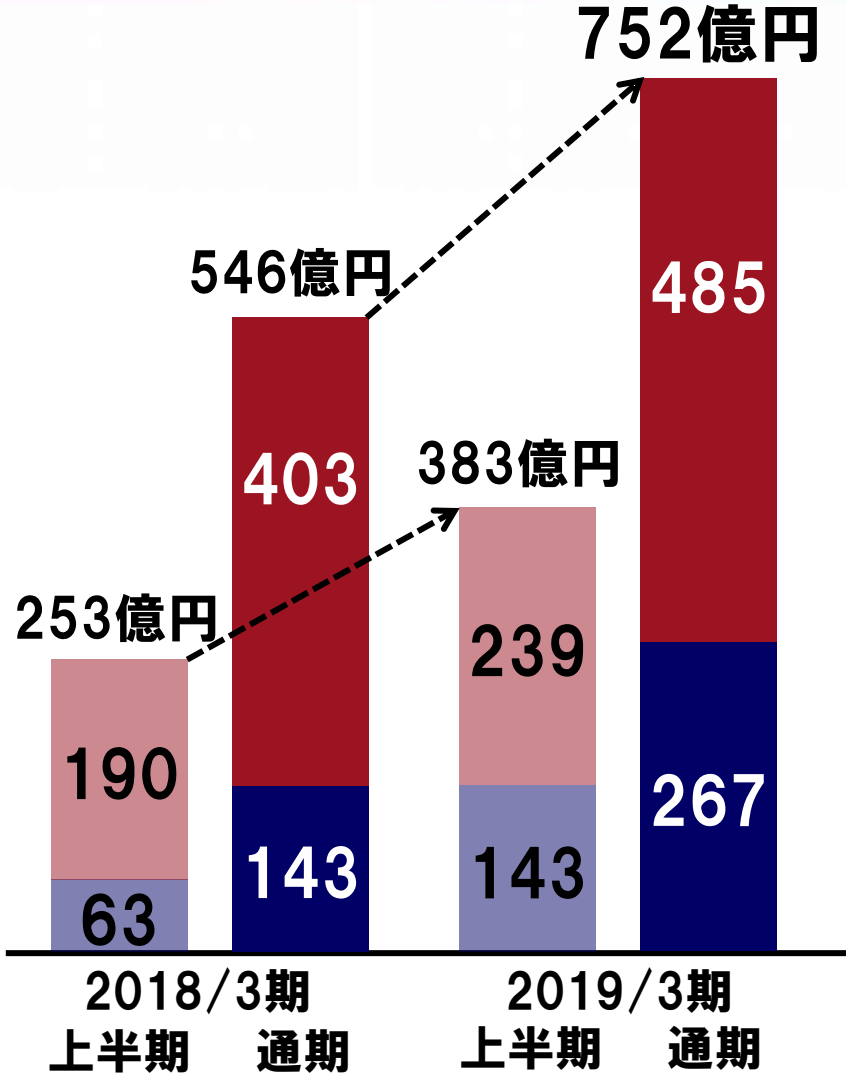
建装建材セグメント売上高：818億円（対前年101.2%）

伸張市場へAS商品の拡販 オリンピック需要の刈取り

目次

1. 2019年3月期 第2四半期実績
2. 2019年3月期 通期計画
3. セグメントの実績および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
- 4. 海外事業の実績および計画**
5. 中期経営計画C & C2000の進捗
6. 配当について

4. 海外事業の実績および計画



アイカ・アジア・パシフィック (AAP)

- タイ・ケミカル社新規連結
- 繊維板用樹脂
- 産業用樹脂 需要取込
- 新規設備投資実施 (中国・インドネシア・タイ)

その他

- エバモア社新規連結
- ウレタン樹脂・UV樹脂需要取込
- アジア向け化粧板強化
- ブランド力の強化

【海外売上比率 上期実績】 32.5% ⇒ 42.2%

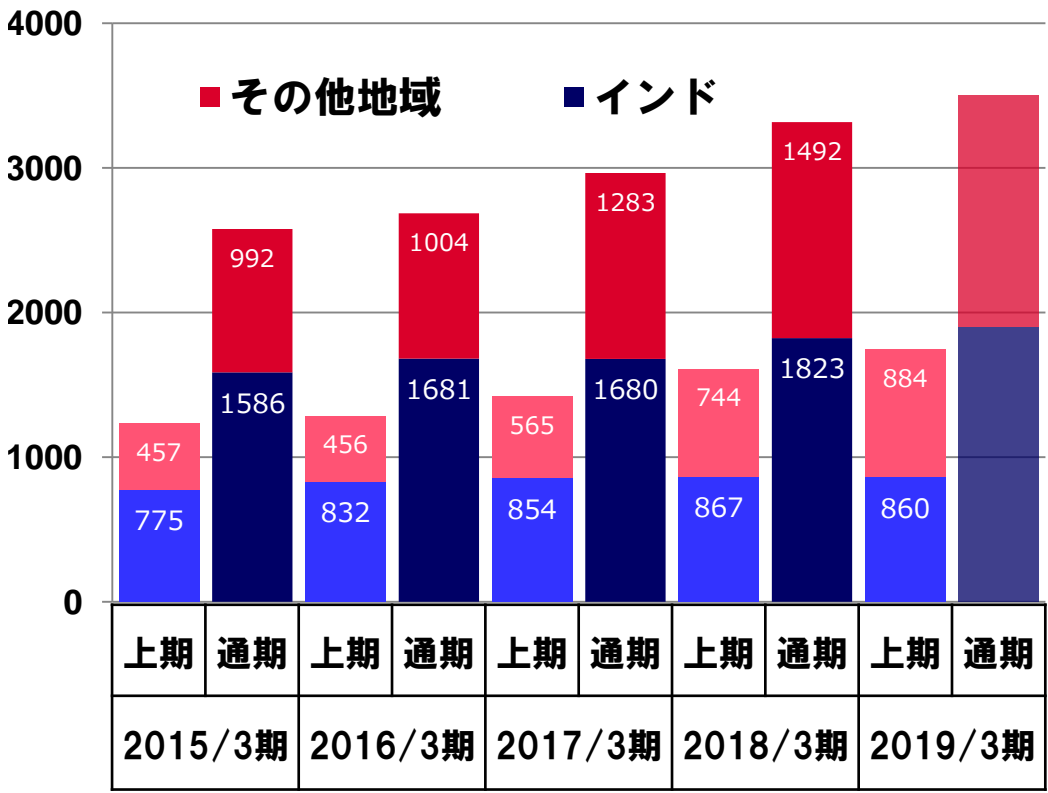
【海外売上比率 通期目標】 33.4% ⇒ 40.6%

※AAP: アイカ・アジア・パシフィック

4. 海外事業 トピックス (海外化粧板事業)

メラミン化粧板 海外販売枚数の推移

[千枚]



販売網・製造能力の強化



アイカ・ラミネーツ・ベトナム(ALV)
 2017年12月 設立
 2019年 4月 化粧板工場稼動開始
 投資額:約22億円



アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社(AALH)
 2018年1月設立
 投資額:約3.8億円
 *海外建装建材事業の
 ヘッドクォーター機能

【メラミン化粧板海外販売枚数】 上半期実績 対前年106.9%
 今期計画 対前年106%

目次

1. 2019年3月期 第2四半期実績
2. 2019年3月期 通期計画
3. セグメントの実績および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
4. 海外事業の実績および計画
5. **中期経営計画C & C2000の進捗**
6. 配当について

5. 中期経営計画 (2018/3期-2021/3期) の進捗



項目	2017/3期 (実績)	2018/3期 (実績)	2019/3期 (計画)	2021/3期 (計画)
売上高	1,516億円	1,637億円	1,850億円	2,000億円
経常利益	183億円	196億円	210億円	220億円
ROE	9.9%	10.1%	10.6%	10%以上
海外売上比率	30.8%	33.4%	40%以上	35%以上

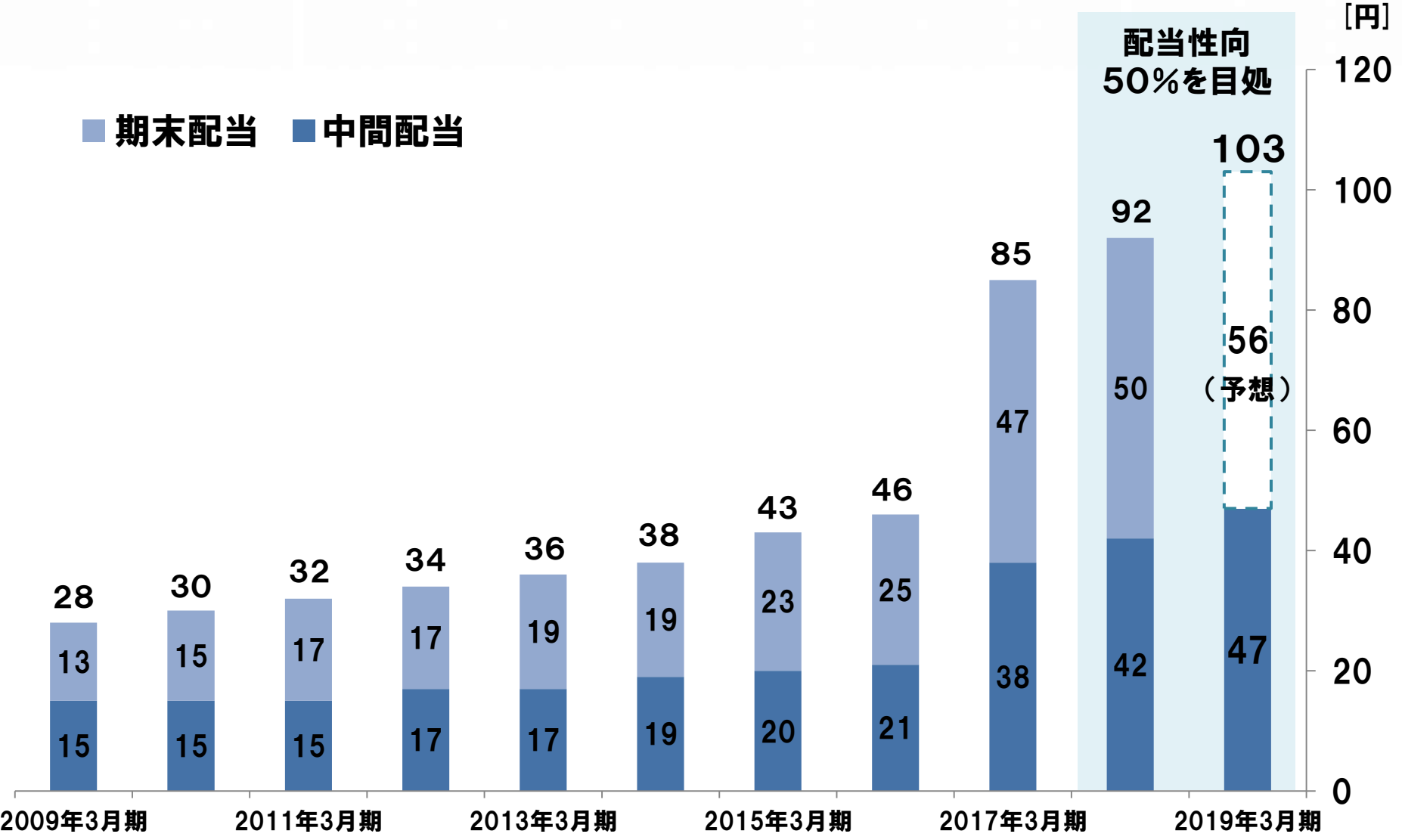
中期経営計画 目標2,000億円(年率7%成長)
グループ一丸となり推進

1. 2019年3月期 第2四半期実績
2. 2019年3月期 通期計画
3. セグメントの現況および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
4. 海外事業の現況および方策
5. 中期経営計画C & C2000の進捗
6. 配当について



6. 配当について

■ 期末配当 ■ 中間配当



配当性向
50%を目処

※2019/3期の期末配当は、現時点の予想値です。



C&C2000
CHALLENGE & CREATION

アイカ工業株式会社